

○大文字にする時

文の一番最初の文字

曜日と月

タイトルのうち、前置詞と接続詞を除く単語（前置詞や接続詞が頭に来れば大文字）

○ピリオドを打つ

文末

略称が文末にくるときは2つ打たなくていい（Ph.D.としなくていい）

○コンマを打つ

3つ以上の項目を分ける時（a, b and c）

and, but, so, or などの直前

however, therefore, in conclusion の直後（文頭で使われるとき）

○引用符

本や映画のタイトルを手書きするとき（ワープロならイタリック）

人の発言などを挿入する時（日本語で言うカギカッコ）

※報告するとき（間接話法的に書くとき）は使わない

○引用符を使う時の句読点

倒置したとき（“……” , SV）はコンマ

文末にくるときはコンマではなくピリオド

引用の一部なのか文全体にかかるのかでクエスチョンマークやピリオドを引用符の中に入れるか考える。

○引用符と大文字

引用文の途中で倒置が入るときは後ろの引用部分は小文字から始める

“Next week, ” said the professor, “we have～”

そうでなければ大文字から

○アカデミックライティングをするにあたって

不要な文を挿入しない

etc や！、…は使わない。

etc : such as 等で代用

！：びっくりした理由を詳しく書く

…：文が続いていることを示すので文をきちんとピリオドで止める。